

CITY & LIFE

都市のしくみと暮らし

特集

都市の保存

No.

WINTER 1993

30



ヨーロッパでは都市は維持・蓄積していくものと考えられている。それに対してわが国では都市においてさえも新しいものがよいとされており、まして建築物は一時的なものという考え方が強い。そこに経済が関与し、古い建築物は容赦なく取り壊され、スクラップ・アンド・ビルドがくりかえされている。だが、建築界のデザインサーベイの流行やヨーロッパの都市に対する考え方の影響などを受けて、まちなみの保存が叫ばれるようになってきた。今取り組まなければなくなってしまう古いまちなみ・建築。これらの保存について考えてみたい。

CONTENTS

★=編集部

	建築保存の理念	松葉一清	2
〈座談会〉	まちづくり進化論……まちなみ保存をめぐる	宮澤智士+田中文男+柏木博	8
	東アジアでの建築保存	村松伸	16
〈ケーススタディ〉	未来に残す空間……昭和建築の保存方法	★	22
	都市に刻印された時間……ボストンのロウハウスがつくるまちなみ	小林正美	30
〈ルポ〉	聞き書き・谷中……言葉・まなざしの記憶の中へ	★	36
〈都市を拓いた人々・13〉	東京	吉田豊	44
	バックナンバーのお知らせ（総目次）		48
	INFORMATION		49